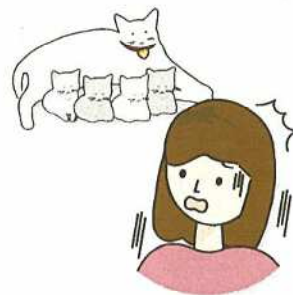


# 不妊・去勢手術をして 飼いましょう



動物は本能で繁殖を行い、自らの意思で繁殖をコントロールすることはできません。望まれない命を生み出さないためにも、責任を持って世話ができる頭数を飼育しましょう。



## 不妊・去勢手術の主な利点と欠点

	不妊手術(卵巣と子宮の除去)	去勢手術(精巣の除去)
利点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●望まない妊娠がなくなる</li> <li>●卵巣や子宮の病気や乳腺腫瘍などの予防</li> <li>●発情期特有の困った行動がなくなる (大きな鳴き声、トイレ以外での排尿、外に出たがる、神経質になる等 犬では発情に伴う出血もなくなる)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●精巣や前立腺、肛門周囲の病気の予防</li> <li>●メスへの興味による性的ストレスの軽減</li> <li>●発情期特有の困った行動がなくなる (大きな鳴き声、無駄吠え、マーキング、ケンカ、攻撃性、脱走など)</li> </ul>
欠点	<ul style="list-style-type: none"> <li>●手術には全身麻酔のリスクがあるが、適切な麻酔管理で軽減できる</li> <li>●肥満傾向になるが、適切な食餌管理と運動で防げる</li> <li>※メスでは尿失禁が起きる場合があるが、治療できる</li> </ul>	

1頭のメス猫が…



1年後には**20**頭以上



2年後には**80**頭以上



3年後には**2000**頭以上



- メス猫は生後4～12ヶ月で子猫を産めるようになり、年に2～4回発情期があり、1回に4～8頭の子猫を産みます
- メス犬は生後6～9ヶ月で子犬を産めるようになり、年に約2回発情期があり、1回に3～10頭の子犬を産みます